

4. 収益計画

※黄色マーカーのセルに入力してください。

(単位:千円)

	R6年12月期(直近)		R7年12月期(初年度)		R8年12月期(2年目)		R9年12月期(3年目)	
	実績	比	計画	比	計画	比	計画	比
売上高	10,000	100.0%	12,000	100.0%	14,500	100.0%	17,500	100.0%
うち、減価償却費	400	-	300	-	200	-	100	-
売上原価	1,000	10.0%	1,200	10.0%	1,450	10.0%	1,750	10.0%
売上総利益	9,000	90.0%	10,800	90.0%	13,050	90.0%	15,750	90.0%
既存事業	7,000	70.0%	8,000	66.7%	9,500	65.5%	11,500	65.7%
うち、減価償却費	1,000	-	900	-	800	-	700	-
補助事業	-	-	600	5.0%	500	3.4%	400	2.3%
うち、減価償却費	-	-	400	-	300	-	200	-
販売費及び一般管理費	7,000	70.0%	8,600	71.7%	10,000	69.0%	11,900	68.0%
営業利益	2,000	20.0%	2,200	18.3%	3,050	21.0%	3,850	22.0%
経常利益	800	8.0%	1,160	9.7%	1,400	9.7%	1,700	9.7%

【収益計画の積算根拠】

＜売上高＞ ※既存事業及び補助事業を総括して、説明すること。

直近の決算期であるR6年12月期の売上高は、10,000千円を計上しました。販路を拡大したことで、前年(R5年12月期)と比較して約5%の増収となりました。

R7年12月期以降の見通しについては、年間20%程度の増収を見込んでいます。理由としては、販路拡大を継続していく方針であることに加え、今回、〇〇システムを導入することで在庫管理の効率化が進み、これまで以上に自社商品の顧客への提供スピードが改善されるからです。

＜経常利益＞ ※既存事業及び補助事業を総括して、売上原価、販売費及び一般管理費の内容も含めて説明すること。

直近の決算期であるR6年12月期の経常利益は、過年度水準の売上原価及び、販売費及び一般管理費を計上して、800千円の実績となりました。

R7年12月期以降は、每期、売上高と比較して10%程度の経常利益を計上する見通しです。売上原価は、増収に伴い増加する計画ですが、売上総利益は売上高対比で概ね90%を確保する予定です。販売費及び一般管理費は、補助事業に係るシステムのメンテナンス費用や減価償却費などが計上される見込みであり、収益計画の1年目～3年目の経常利益は、1,000千円～1,700千円程度を見込んでいます。